

日本一早い!! 種子島産コシヒカリ田植え開始

「3月」種子島管内で、「種子島産コシヒカリ」早期米の田植えが始まりました。

種子島の早期米は、日本一早い種子島産コシヒカリとして銘柄確立を目指しています。

植え付け時期の集中・集約を図ることと、6月末のカメモシ類・イモチ病・紋枯病対策を行う際、効果を高めるとともに、有利販売することが期待できます。

植え付け時期は3月中旬から下旬で、生産量は740トンの見込みで、出荷のピークは7月下旬の予定です。



単収向上に向けて さとうきび新植開始

「3月」種子島管内で、さとうきびの収穫作業も終盤となり、春植えの新植も始まりました。

種子島の基幹作物であるさとうきびは、ここ数年不作が続いています。

昨年は、台風等の被害はなかったものの面積が減少していることから生産量が回復したといえない状況となっています。

現状を受けて増反推進と併せて、株揃えを行い早期の株出し作業や欠株対策として積極的な補植、併せて中耕・培土作業と除草剤散布での雑草対策等の単収向上に向けた管理作業を呼びかけています。



レザー・ロベ・しきみ 花卉出荷協議会実施

「3月」南種子町花卉部会は、令和2年度に向むけた出荷に関する協議会を品目ごとに行きました。

レザーについては、市場からの信頼を損わないよう、これまで通り、信用ある継続出荷を行うことやコストの低減対策等を協議しました。（左下へ続く）



フェニックスロベニーとしきみについては、昨年度から本格出荷が始まり、課題が見えてきました。

今後は取引先と協議しながら、消費者ニーズに合わせた販売を行っていくことを出席者全員で確認しました。